

行政視察報告

● 総務環境委員会 ●

当委員会では主な所管事務事業の中から特に「支所機能強化とDXの活用」、「森林・環境政策」の二つを調査項目として抽出し、7月24日から26日まで、姫路市（兵庫県）「高齢者等ゴミ出し支援について」、西粟倉村（岡山県）の「『脱炭素先行地域』環境モデル都市、バイオマス産業都市への取組み」、神山町（徳島県）の「神山町創生戦略『まちを将来世代につなぐプロジェクト』」を視察しました。

ここでは特に西粟倉村の「カーボンニュートラルの取組み」と神山町創生戦略「まちを将来世代につなぐプロジェクト」の二つを報告します。

西粟倉村「カーボンニュートラルの取組み」について



西粟倉村は中国山脈南部に位置し、地形や立地環境など高山市と類似する点が多い村です。同村は2009年に開始された「百年の森林事業」をシンボルプロジェクトとし、そこで醸成された哲学『百年の森林構想』や『生きるを楽しむ』をビジョンとして、人にも環境にもやさしい持続可能な村づくりに取り組んでいます。2022年には環境省が公募する「脱炭素先行地域（第1回）」に採択され、2050年カーボンニュートラルを目指し、村全域にある公共施設に太陽光発電設備・風力発電設備・蓄電池・EV充電設備の導入を進めています。また

豊富な水資源や森林資源等の地の利を活かして、バイオマス発電や熱源の活用、小水力発電所など、様々な自然エネルギーを組み合わせることで村内に実装し、『地域や自分たちにとってどんな良いことがあるのか、今よりどう暮らしが良くなるか』＝ベネフィットを明確に示すことで、脱炭素化を官民ともに自分事として共有し、エネルギーの自給自足100%に向けて着実に歩みを進めています。

神山町「神山町創生戦略『まちを将来世代につなぐプロジェクト』」について



創生戦略第1期は神山プロジェクトにより、サテライトオフィス誘致、ワーク・イン・レジデンス、神山塾開校などに取り組んだ結果、過疎地域における人口の社会減を食い止め、転入者が転出者を上回る社会増を実現しました。特に転入者は神山町移住支援センターを経由して、平均年齢30歳前後の若者が多くを占めています。これには高速インターネットの環境整備が大きく影響しており、IT関連企業の進出が若者の移住増加の背景となっています。

第2期からは、施策づくりの推進役として役場の若手職員と公社職員で構成するチームを設置し、第1期の「成果と課題の共有会」を開き、地域の課題解消に向けた検討委員会を組織し情報共有を行ってきました。第1期から継続して『つなぐ』という意識を念頭に「神山つなぐ公社」が設立され施策の展開の中心となっています。

神山町における施策の展開は、全国のなかでも先進的な取り組み事例です。広大な面積を有し、人口減少が加速する高山市の支所地域の地域振興策も含め、持続可能な地域づくりをする上で、必要とする施策や展開方法、行政の考え、住民の意思など、欠くことのできない課題でもあり大いに参考となりました。

西粟倉村も神山町もそれぞれの事業の先進地として、政策提言を考える上で大変参考になりました。

詳しい報告書はホームページを参照ください。

